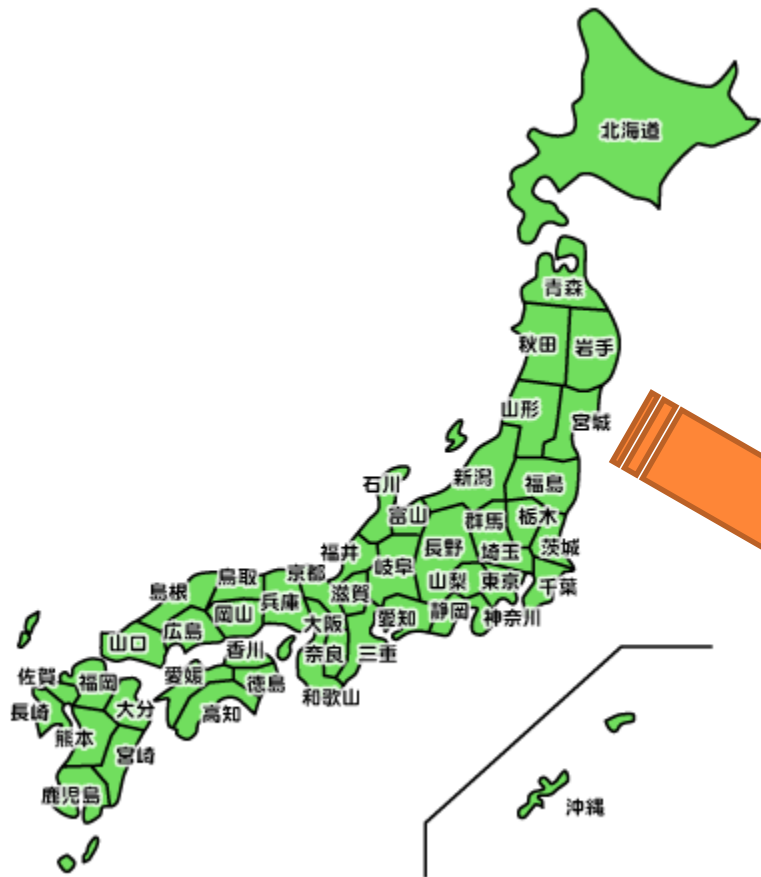


東日本大震災に伴う保健活動について



宮城県亘理郡山元町役場

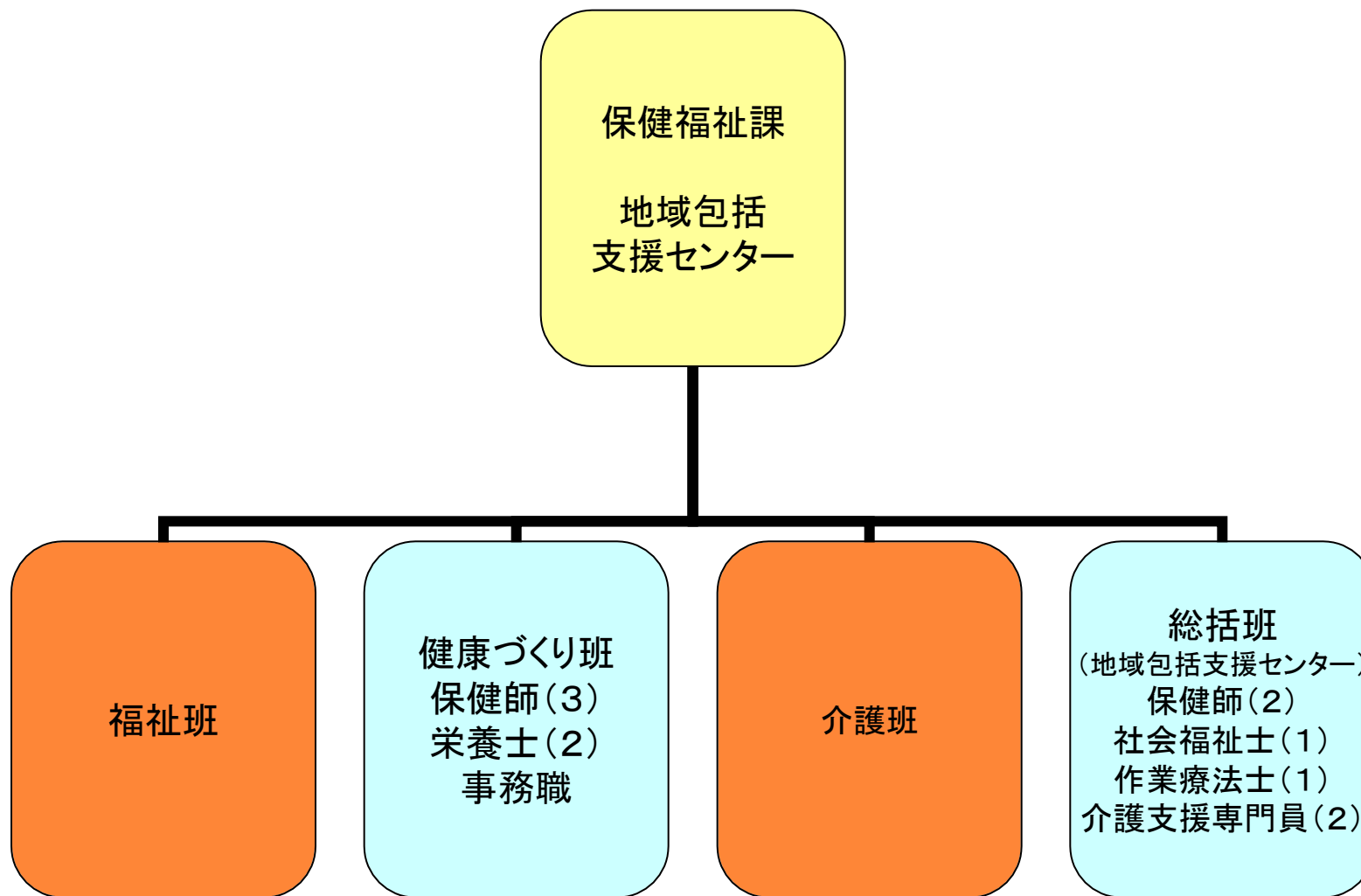
保健師 渋谷 美智子



温暖な気候に恵まれ、東に太平洋・西に阿武隈山地にのぞみ、面積64.48km²・人口1万6千人の町でした。



震災前保健福祉課・地域包括支援センター体制



東日本大震災による被害状況等

1. 地震及び津波の概要

- ①地震 発生時間 平成23年3月11日【金】 午後2時46分ごろ 本町震度 震度6強
- ②津波 来襲時間 平成23年3月11日(金) 午後3時50分ごろ

2. 人的被害状況

- ①死者 632人(遺体未発見の死亡届16人及び震災関連死15人含む)
- ②行方不明者 1人(死亡届16人を除く)
- ③重傷者 9人
- ④軽傷者 81人

3. 家屋被害状況

- ①全壊 2,217棟(うち流出家屋 1,013棟)
- ②大規模半壊 534棟
- ③半壊 549棟
- ④一部損壊 1,138棟

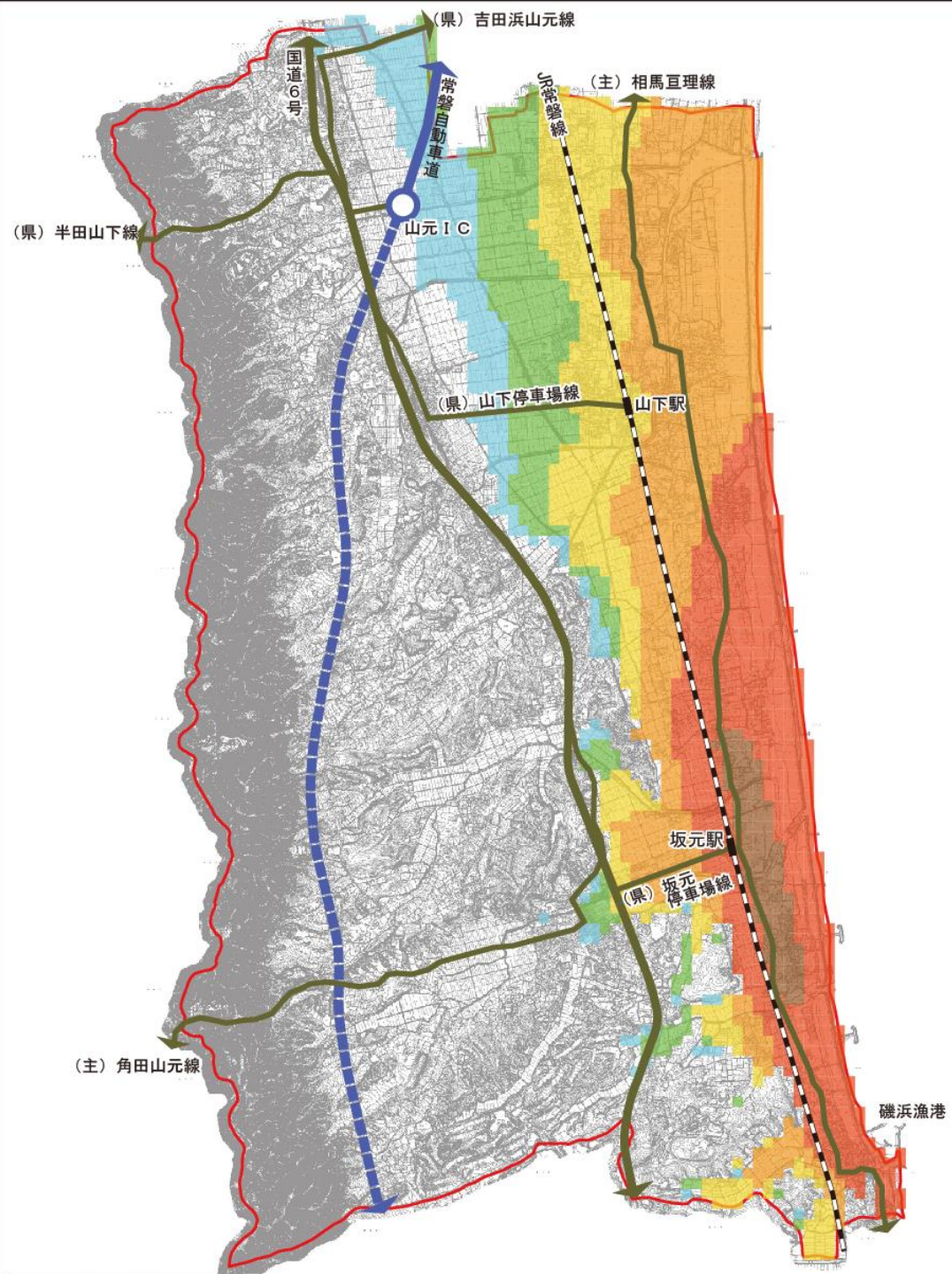
4. 津波浸水状況 ①浸水世帯 2,494世帯(7,543人)※避難指示 (別紙参照)

5. 避難所開設状況

- ①避難所数 19箇所(最大ピーク時3/14)
- ②避難者数 5,826人(最大ピーク時3/14)

○ ※8月16日閉鎖





(県) 吉田浜山元線

国道6号

常磐自動車道

JR常磐線

(主) 相馬互理線

(県) 半田山下線

山元IC

(県) 山下停車場線

山下駅

坂元駅

(県) 坂元停車場線

(主) 角田山元線

磯浜漁港



坂元駅(震災前)



坂元駅(震災後)



八重垣神社(震災前)



八重垣神社(震災後)



被災地域(直後)



被災地(中浜小学校)



津波到達地点

人口推移

震災前(H23. 2. 末現在)

- 総人口
16, 695人
- 65歳以上の人口
5, 175人
- 高齢化率
31. 0%
- 世帯数
5, 561世帯

震災後(H24. 6. 末現在)

- 総人口
14, 003人(△2, 692)
- 65歳以上の人口
4, 381人(△794)
- 高齢化率
31. 3%
- 世帯数
4, 815世帯(△746)
(震災前との比較)

震災発生から24時間後までの保健活動

◎被災者が避難及び救助されてくる

- テント→バス→保健センターでの救護活動
(低体温者・けが人・PTSDなど)
- 町内医師の協力要請



震災24時間後～1週間の保健活動

◎慣れない避難所生活者への支援

- 保健センター内での救護所・避難所として運営
保健師・介護支援専門員・町職員・自衛隊

日頃からの
ネットワーク

協力
医師(町内)
看護師(訪問看護ステーション・在宅看護師)
介護員(社会福祉協議会)

- 各避難所巡回相談(保健師 2名)
- 薬の調整(医師・薬局との連携)
- 透析患者の調整
- 子ども用のオムツ・ミルクの調達
- 医療体制整備等の調整(自衛隊・独立行政法人国立病院機構・県など)



震災発生1週間後～2か月までの保健活動

◎長期化する避難所生活

- 医療チームへの同行
- 各避難所での健康管理(派遣保健師が担当)
- インフルエンザ対策(18日～)
- ころケアチーム・児童相談所との調整
- 全妊婦の状態確認・新生児訪問・
- 入浴支援調整
- 福祉避難所としての役割
- 医療スタッフミーティング
- 派遣保健師等とのミーティング
- 居宅介護支援事業者との調整
- 歯科医師会・眼科医師・薬剤士会との調整



医療チームの同行(3月19日)

頭痛いとか
具合悪いと
ころはない
ですか？



医療スタッフミーティング

- 宮城病院(院長・看護部長他)
- 巡回医療スタッフ
- 自衛隊医療スタッフ(医師他)
- 医師会代表
- 消防署(救急隊)初回のみ
- 町(保健師)



派遣保健師等とのミーティング(毎日)



保健師
栄養士

自衛隊

派遣保健師

震災発生2か月後～平成23年8月末までの保健活動

- 仮設住宅支援(健康調査・健康教育)...派遣保健師
- 各避難所での健康管理...派遣保健師が担当
ボランティア看護師
- 食中毒対策・・・健康教育・環境整備等
- 派遣保健師とのミーティング
- 救護所運営(5月9日閉鎖後健康相談所に名称変更)
- 保健センターの避難所運営(6月12日閉鎖)
- 被災者健康調査...保健所等
- 通常業務(乳児健診・予防接種等)開始(5月11日～)
- 業務の課題整理(技師打ち合わせ)
- サポートセンター設置検討会



運動教室の一場面



業務の課題整理



平成23年9月初め～現在までの保健活動

- サポートセンター運営
 - ・訪問...直営(臨時職員)
 - ・健康相談会(月1回)...看護協会から支援
 - ・サロン事業...委託 ・配食...委託
- ◎各事業の利用者調整・フォローケース検討
- 仮設住宅環境整備
- 各種相談会・各集会所の運動教室調整
- 被災地健康調査...主に保健所担当
- 仮設における訪問活動(精神等...アウトリーチ事業活用)
- 児童のこころのケア事業
- 応急仮設住宅支援体制づくり・復興応援センター支援
- 民間賃貸入居者支援



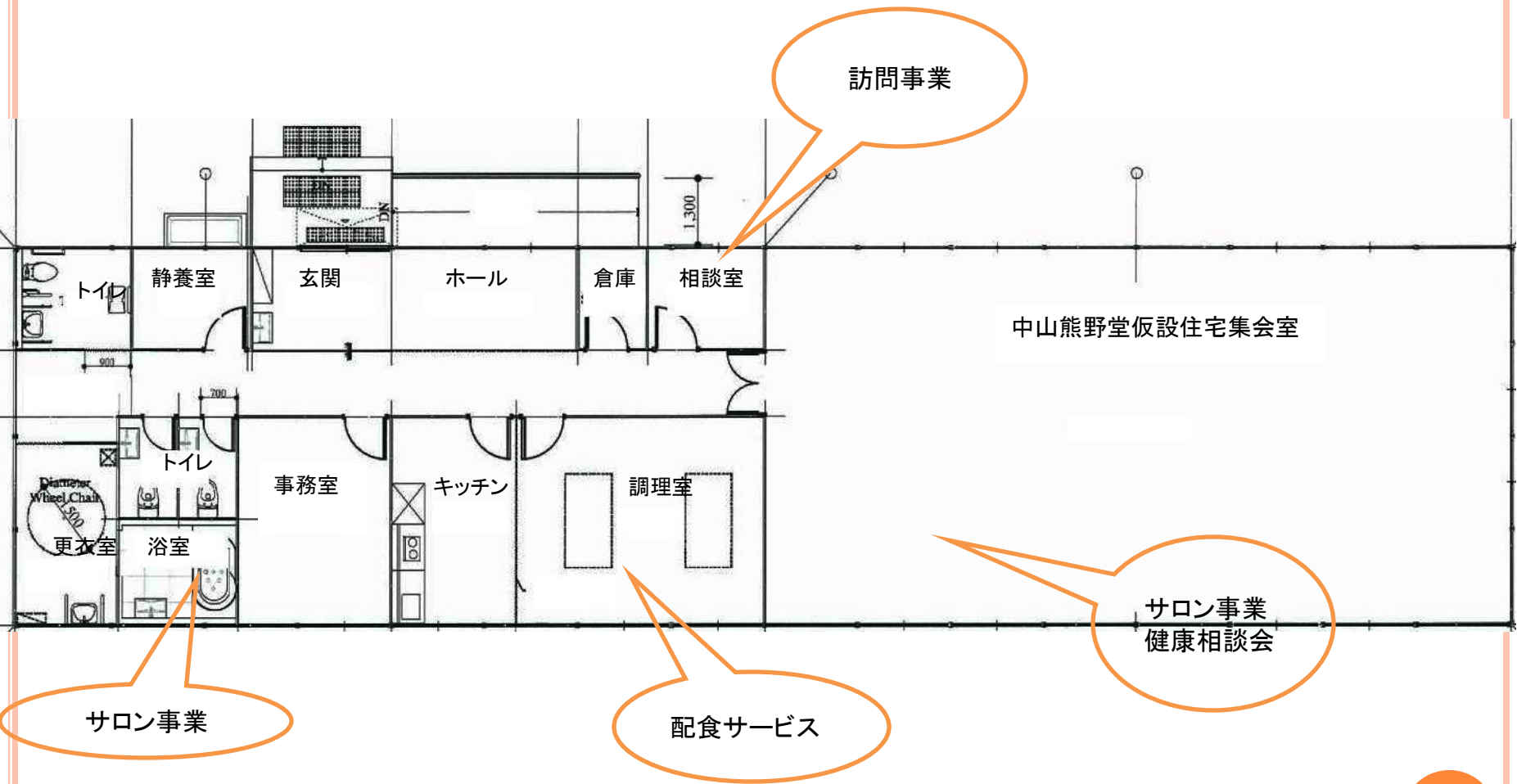
応急仮設住宅の入居状況

平成24年6月30日現在

団地数	施設名又は住所	完成戸数	入居戸数	入居者数
1	旧坂中	78戸	77戸数	243人
2	町民グラウンド	141戸	137戸数	410人
3	ナガワ仙台工場内	130戸	118戸数	311人
4	西石山原地区	82戸	77戸数	203人
5	浅生原内手地区	106戸	99戸数	329人
6	箱根地区	63戸	61戸数	168人
7	浅生原東田地区①	30戸	29戸数	82人
8	町民グラウンド北	38戸	36戸数	74人
9	浅生原東田地区②	159戸	153戸数	351人
10	中山熊堂地区	125戸	120戸数	256人
11	浅生原東田地区③	78戸	72戸数	155人
計		1030戸	979戸数	2,582人

山元町地域サポートセンター見取り図

(中山熊野堂仮設住宅集会所併設)



サポートセンター事業

○ 訪問事業

保健師・看護師

要フォロー者支援

入居者健康調査など

○ サロン事業

週1回利用

(交流事業・入浴など)

○ 健康相談事業

各集会所単位に月1回

開催

○ 配食サービス

週2回利用

集会所での会食

レシピ付



サロン事業

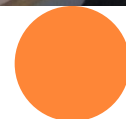


配食サービス



健康相談会実施打ち合わせ会

- 宮城県看護協会
事務局・担当スタッフ
- 仙台保健福祉事務所
- 町担当者
- 国立病院機構宮城病院



仮設住宅集会所における簡単クッキング



お茶っこサロン(復興応援センター)



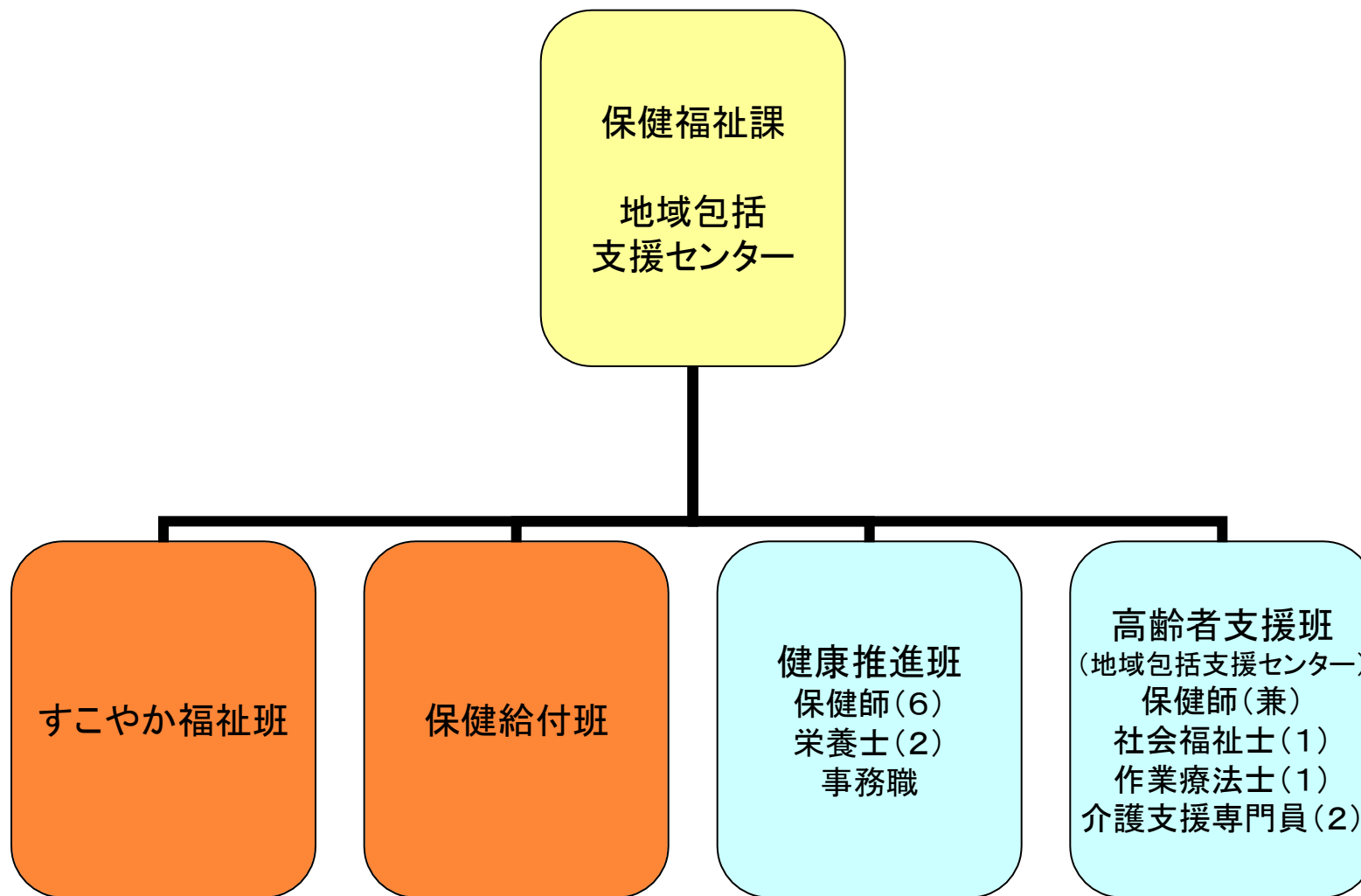
仮設住宅 環境整備

- 手すりの設置
- 福祉用具の導入

- 協力スタッフ
 - ・国立病院機構宮城病院
 - ・身体障害者更正施設静和園
 - ・仙台保健福祉事務所

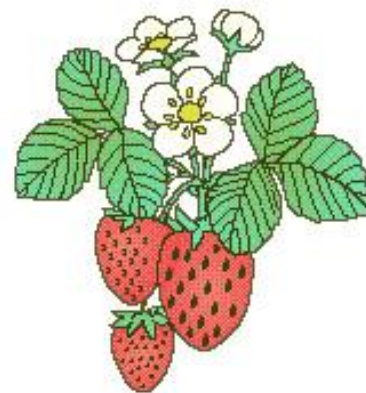


現保健福祉課・地域包括支援センター体制



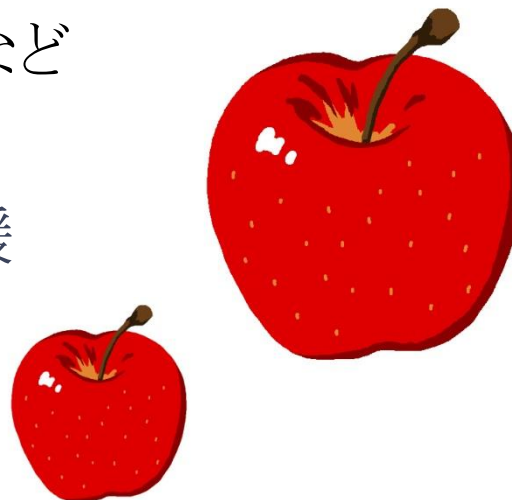
この災害保健活動を通じて

- 地区活動の重要性の再確認
- 調整機能の役割
- 日頃からのネットワーク大切さ
- 災害時の支援者のありがたさ
 - ・客観的視点の支援者
 - ・マンパワーとしての量と質
- 職員のスキル



今後の取組みについて

- 福祉避難所の整備
指定及び直営など
- 医療救護所の整備
- ボランティア活動の受け入れについて
- 災害時要援護者対策について
在宅酸素利用者・透析患者など
- 被災者支援
- 災害公営住宅・コミュニティづくり支援
- 通常の保健活動について
ネットワークの構築
地区活動



職員対策について

- 休日の確保
- 「こころのケアチーム」による職員面談
- 健診時のストレスチェックの実施
- 専門スタッフによるフォロー体制



おわりに

今回の震災で仙南保健福祉事務所管内の保健師の皆様をはじめ、全国各地からの医療チーム、ボランティア看護師、仙台保健福祉事務所、多くの方々にご支援をいただき大変ありがとうございました。

受け入れる側の私たちも、日頃からの自分たちの活動をしっかりとしておく必要があることを痛感しましたので、日々の活動、そしてまだまだ山積しております課題解決に向け皆さまのご支援ご協力をいただきながら、努力して参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

